

平成30年度 第3回小平市立学校給食共同調理場運営委員会次第

1 日 時 平成31年2月26日(火) 15:30～16:10

2 場 所 学校給食センター会議室

3 出席状況 出席者9名 欠席者4名 事務局4名

4 傍聴者 無し

5 次 第

(1) 報告事項

①給食食材の放射能検査結果について(資料No.1)

②残食調査の結果について(資料No.2)

(2) 協議事項

①平成31年度中学校給食実施計画(案)について(資料No.3)

(3) その他

会議要録

所長

ただ今より、第3回学校給食共同調理場運営委員会を開催いたします。はじめに、委員長よりご挨拶をお願いいたします。

委員長

卒業式も近くなり、3年生が給食の残り日数を話題しているのを耳にしました。生徒にとっては学校生活における給食は楽しみであり、たくさんの思い出の中の1つかと思います。本委員会において、生徒に思い出深い給食が提供できるよう充実した話し合いができればと思いますのでご協力の程よろしくお願い致します。

所長

ありがとうございました。これより、議事は委員長の進行で進めさせていただきます。

委員長

それでは、次第に沿いまして進めてまいります。まず、報告事項の① 給食食材の放射性物質の検査結果について、事務局より説明を御願いたします。

所長

小平市では東日本大震災にともなう原子力発電所放射能漏れ事故以降、給食食材の安全性を確保するため、小学校は毎月の輪番制で、中学校は毎月5品目を選定し検査を実施しております。

検査結果については、市及び学校給食センターのホームページに公開しております。中学校給食では、毎回牛乳は検査することとなっております。お手元の資料は11月分から1月分をお示ししております。結果については、いずれも不検出となっております。

委員長

本件につきまして、何かご質問等がありますか。

質疑応答無し

委員長

特にご質問が無いようでしたら、次に報告事項の②残食調査の結果について事務局より説明を御願いたします。

所長

資料No.2をご覧ください。平成30年度2学期分の結果となります。これまで各学期に1校づつ年間3校の調査を行っていましたが、調理委託業者と調整を行いまして、平成30年2学期から各学期に全校を調査するよう変更しております。これまで学校全体の調査結果でしたが、新たな調査では各校の学年別、クラス別の残食量まで把握できるようになっております。

今後はこのような調査を継続して実施し、残食量を減らすための学年毎の対応及びクラス毎の対応を図ってまいります。

委員長

本件につきまして、何かご質問等がありますか。

委員

食べてもらいという思いで提供されているかと思いますが、残食の多い献立については、どのように対応していくのですか。

事務局

海藻を使用した献立や野菜のサラダなどで残食の多い結果が出ております。味付けや献立そのもの見直しなども行います。特にサラダはドレッシングによって残食の結果が変わりますのでドレッシングを変更するといった対応を図ってまいります。

委員

残食調査結果を保護者や生徒に伝えていきますか。このような結果を知ることで、生徒に残食を減らそうといった意識が生まれたり、保護者からの声かけもできるのではと思います。

生徒に知ってもらい、まずは生徒自身が残食を考えるきっかけにできるのではと思います。

事務局

現在は学校にだけ、お伝えしている状況です。学校によっては残食をクラス毎に競争して表彰するといった企画に、この調査を活用されているケースもあります。私どもも生徒に知ってもらうことは重要かと考えておりますので、様々な工夫を凝らして生徒に残食について考えてもらえるよう検討してまいります。

また、今回の調査からはクラス毎に献立別の残食量まで把握できるようになりましたので、よりきめ細やかな対応を図れるよう残食調査結果を活用してまいります。

委員

学校によっては2年生が0%といった素晴らしく良い結果が出ているが、この理由などは把握しているか。食べ残しが多いクラスの傾向や理由を把握するのも大事だが、食べ残しが少ないクラスの理由を把握することも重要で有効ではないか。

事務局

0%の結果については献立の内容にも影響される面もあるが、学校や担任の先生は前向きに取り組んでいただいている結果だと認識している。今後は食べ残しが少ないクラスの理由等の要因について把握してまいります。

委員

生徒に提供している給食の量は決まっているのか。同じ量が提供されることで、多く感じる又は食べ切れない生徒が出ているのか。

事務局

男女や学年に関わらず配食量は同じとなる。女子や食の細い生徒には量が多いと感じるかもしれません。

1年生から3年生まで、男女問わず同じ栄養摂取基準で提供されている。体格の大きい3年生の残食量が少なく、1年生の残食が多いかと予想しておりましたが、実際は1年生の残食量が少ない傾向が結果として出ております。体格や年齢の問題だけでは無いかと思われま

委員長

その他、ご質問ご意見等無いようでしたら、協議事項に移ります。①平成31年度中学校給食実施計画（案）について、事務局から報告をお願いいたします。

所長

お手元の平成31年度中学校給食実施計画（案）についてご覧ください。

給食実施期間は、平成31年4月10日（水）から平成32年3月24日（火）までを予定しております。

3年間標準給食回数とありますが、各学年とも最低回数以上食べていただきたいという数字が示してあります。

4 各学校の年間給食予定回数及び予定給食費です。こちらは行事や定期試験での給食実施等の学校ごとの運営の状況により回数に差が出ております。平成31年度につきましては学校との調整の結果、記載の回数で予定させていただきます。

5 給食費についてですが、中学校給食は食数に応じて単価方式を採用しており、単価は、平成26年度に20円値上げしております。来年度も引き続き300円を予定しております。

(2) の給食費の徴収については、ゆうちょ銀行の口座振替で納入していただいております。引き落としは、5,600円を一律に納付いただき、2月時点で、給食回数に応じた金額を算定し、精算する形になります。2月はほとんどの学年が、5,600円以下の金額になると思います。また、3月の引き落としは、未納の方を対象に再度引き落としをさせていただきます。なお、1回10円の引き落とし手数料は、保護者の方の負担でお願いしております。

3ページ(4)未納対策についてです。給食費の収入率は平成29年度では99.9%となっており、学校や保護者の皆様に御理解と御協力をいただく中で高い水準の収入率を保っております。

今後は、児童手当からの引き落としについても検討を行い更なる未納解消に努めてまいります。児童手当については、年4回の支給であるため、現年度の給食費よりも過年度分の一括支払いを考えられます。但し、この場合、保護者の同意が必要なことや、支給システムの事務処理手続きも発生することから、関係課と事前に十分な調整が必要です。

次に献立作成につきましては、特徴的な部分を説明させていただきます。

(2) のアレルギーへの対応につきましては、医師の診断に基づき、牛乳及びミルクコーヒーの

飲用牛乳の不食者に対して給食費を返金するとともに、平成30年度からはアレルギーを理由に給食が不食となった場合に給食費を返金する対応を始めておりますので、平成31年度でも継続します。

(3)は、安全な食材料を使用し、手作りにこだわる給食について記載させていただきました。

(4)給食では、衛生管理を徹底することから、生野菜は出しておりません。必ず加熱を行いますが、サラダについても、加熱後すみやかに冷却するなどして教室で美味しく食べてもらえるよう工夫いたします。

(5)～(7)は、地場産農産物や小平市の特産品、行事食などを取り入れながら食育の推進を図ってまいります。

8 衛生管理ですが、給食では、まずは安全を徹底いたします。食材の温度管理、調理器具の消毒などの強化を図ります。(3)では、現在ノロウイルスによる食中毒が問題になっておりますが、ノロウイルスは、加熱により死滅することから、食品は、85度で90秒以上加熱することとし、中心温度計による測定を引き続き徹底してまいります。また、調理従事者の腸内細菌検査、ノロウイルス検査、薬剤師会による検査、保健所による衛生管理指導を踏まえ衛生管理の徹底を図ります。

次に 9 食の安全及び食育です。(1)(2)では使用食材の産地及び放射能検査結果をホームページに公開していきます。

(3)(4)では毎日の給食時間の放送原稿を学校に送り、給食指導に活用いただきます。また、給食センターのホームページやメールマガジンを活用し、保護者等への給食のPRを行います。

給食委員会の活動に栄養教諭が参加したり、生徒との交流ノートを通じて学校における食育活動を推進します。また、栄養教諭を中心に食に関する授業への参画を各校に働き掛け実施してまいります。

(6)残食調査につきまして各学期で全ての学校の残食を計量できるよう調理委託業者と調整を図りましたので、クラス別、学年別、学校別の詳細な計量を行い、生徒の残食傾向を細かく把握してまいります。その結果につきましては学校と共有し、残食の減少に向けた食育活動に活かしてまいります。

(7)では残食調査の結果を踏まえ、残食の多い傾向のクラスの給食時間に訪問し、献立や食材についての説明を行うとともに、生徒の声を直接聞いて回りたいと考えております。

(8)夏休み実施している施設見学ツアーや保護者や大学生、市内農家さんなどを対象に試食会を実施、給食への理解を図ります。

また、2年生の家庭科の課程に献立を作成する項目がありますので、家庭科の先生と連携して、生徒が考案した献立を実際の給食に採用してまいります。その他、小平特産のブルーベリーや梨のゼリーのラベルデザインを生徒から募集する等、給食を身近に感じてもらえるような企画を実施してまいります。

説明は以上となります。

委員長

本件につきまして、何かご質問等がありますか。

質疑応答無し

委員長

特にご質問ご意見等無いようでしたら、(3)その他 事務局から何かありますか。

所長

大場委員を講師としてお招きし、アレルギー講演会を行ないます。詳細はお手元のリーフレットをご覧ください。

委員長

その他、特になければ、学務課長からお願いいたします。

学務課長

1年間を通じて委員の皆様から貴重な御意見を賜り深く御礼申し上げます。給食センターは建替えを控え、大変な時期を迎えます。皆様からいただきました御意見等を踏まえ更に充実した給食の提供を行ってまいります。1年間ありがとうございました。

委員長

それでは以上を持ちまして第3回小平市立学校給食共同調理場運営委員会を終了いたします。